

今回のインフルエンザの特徴をお知らせします。



3学期の始業式の次の日、インフルエンザA型が3人、B型が1人でしたが、2月8日現在、累計A型9人B型259人になりました。今回の感染は、異常な感染力を持っています。今回、感染した子への聞き取り調査のご協力ありがとうございます。その調査や、来室状況などから、今回の特徴をお知らせ致します。

<今年のインフルエンザの感染について～2月2日までの集計から～>

○感染力や病状、病院受診に関すること

1. 感染力が強いため、一人休むと、席の周囲の子が休む傾向があります。
2. 感染力が強いため、家族や仲の良い友だちや登下校を一緒にする友だちに感染する傾向があります。
3. 熱以外の症状としては、1番が咳。2番が鼻水。3番が熱だけです。他に腹痛、だるさ、関節痛、食欲不振など。
4. 検査で陽性反応が出ず、インフルエンザの薬を飲むのが遅くなると症状が重くなっています。
5. 熱は36.8度～40.2度。平熱に下がる場合や、37度台で元気なので良くなったと思い登校することがあります。
6. 病院での検査は、症状があっても陰性(－)と言われ、2～3回目で陽性(＋)と出る人がとても多いです。
7. 受診している病院は小児科が多いですが、内科や耳鼻科で検査してる人もいました。
8. 熱の下がりが悪く、出席停止後でも、咳や体調不良があり、引き続き休んでいる子がいます。
9. 学級閉鎖中に感染したり、出席停止後も体調が回復しない欠席者が多く、2回目の学級閉鎖になったクラスがあります。

○保健室来室状況

1. 朝から微熱がある場合、学校で調子が悪くなり、熱も上がって早退することが多いです。
2. 昨日38度近くあったけれど、今日熱が下がったから来たという子も、早退する子が多いです。
3. 早退後、1日たってから受診した方が陽性反応がでていました。
4. 1時間休養しても熱がある場合は、お迎えをお願いしていました。連絡がつかない家庭や迎えに時間がかかる事が多く、ベットが足りない状況になります。

～学級閉鎖にならないように、ご家庭に協力していただきたいこと～

- ① 土日祝日は外出を控え、体調を整えましょう。
- ② 毎朝、お子さんの健康観察をしてください。
 - ア) 朝、本人が体調不良を訴えた場合は、微熱でも自宅で安静にして様子を見てください。
 - イ) かぜの症状が続く場合には、熱が下がっていても受診してください。

感染症と診断された場合は、結果を学校にお知らせください。
 - ウ) 家族にインフルエンザ患者が居る場合や咳がある場合は、必ずマスクの着用をお願いします。
 - エ) 前日に38度台の熱がある場合は、朝、必ず検温してください。
- ③ うがい・手洗いを徹底し、睡眠を十分とらせてください。
- ⑤ スポーツ少年団や習い事をしている人は、体調の変化や感染予防に注意し、帰宅後は手洗い・うがいを十分に行いましょう。



